

## YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.K.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	フィンランド
派遣大学	オウル大学		
期間	2023年 9月 18日～ 2024年 6月 27日		

### 【生活編】

#### 1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮					
部屋	個室					
設備	*共同 = ○ 部屋にあるもの = ○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 6 万円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	徒歩で、約 2 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

#### 2. 日常生活

##### (1) 1 ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	35000 円	学食、自炊の為の食材費
学用品購入費	0 円	
交通費	5000 円	友人宅への往復
交際費	10000 円	友人との食事など
その他	5000 円	公共サウナ費用
<b>合計</b>	<b>55000 円</b>	*概算で記録してください。

##### (2) 治安状況・危険地域など

かなり安全、ごく一部深夜は危険と言われている地域もあったので注意

\*2024 年 6 月に移民系を狙った刺傷事件が 2 件発生しており、注意が必要である

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	9ヶ月間	保険料	120000円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	特になし		
加入期間	( )ヶ月間	保険料	( )円

### 4. 滞在都市についての情報

#### 滞在都市 オウル

フィンランド北部で最大の都市。ヘルシンキからは電車で7~9時間。人口約21万人。先進技術分野で知られており、6Gの研究が行われていたり、オーラリングやフィンガーソフト等のグローバル企業を生み出していたりする。

独特な文化としては、世界エアギターチャンピオンシップやポーラーベアピッチング（氷水に浸かりながらプレゼンテーションを行う、昨年は北海道でも予選会が開かれた）、さまざまな音楽祭など、年間700を超えるイベントが開催される。また、夏には白夜に近い現象を体験することができ、冬にはオーロラを見ることができる（大学近くの湖が絶好の撮影スポット）。

日本でいう地方都市のような雰囲気を持つ。エンタメ系の施設が日本に比べて少なく、物価もそもそも高いため買い物や外食もなかなか出来ず、週末に暇になるのが特徴。公共サウナはかなり良い。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	オウル大学	所在地	オウル
最寄空港	オウル空港	空港からの距離	バスで 30~40 分
空港 ⇄ 大学	バス、深夜の場合にはタクシー *移動手段		
学生数	13,800 人	留学生数	909 人
<b>Bachelor's Degree Fields:</b> 1. Business, Administration, and Law 2. Education 3. Information and Communication Technologies		<b>Master's Degree Fields:</b> 1. Business, Administration, and Law 2. Education 3. Engineering, Manufacturing, and Construction 4. Health and Welfare 5. Information and Communication Technologies 6. Natural Sciences, Mathematics, and Statistics	
学部/専攻	Business		

## 2. 週間スケジュール

### ① 9月～12月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業 10:00～	授業 10:00～	フリー (就活など)	フリー (就活など)	フリー (就活など)
午後	授業 ～16:00	授業 ～18:00	授業 ～16:00	授業 ～16:00	授業 ～16:00

### ② 1月～5月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業 8:00～	フリー	フリー	フリー	フリー
午後	フリー	授業 ～14:00	授業 ～16:00	授業 ～16:00	授業 ～16:00

### 3. 履修内容

科目	Global Economics		
履修期間	前期前半	単位数	5
授業内容／形態	対面、マクロ経済学		
成績	1		
YCU 振替予定	科目	国際経済学 I	
	単位数	2	
	担当教員	藤井 孝宗先生	

科目	Tandem		
履修期間	前期～後期（通年）	単位数	1~4
授業内容／形態	フィンランド人と日本人でグループ（もしくはペア）を組み、互いの言語や文化について教え合う		
成績	パス		
YCU 振替予定	科目	-	
	単位数	-	
	担当教員	-	

科目	Strategic Marketing Management		
履修期間	前期後半	単位数	5
授業内容／形態	マーケティングについての講義 グループに別れて実際の企業に向けてマーケティング施策を考える		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	Global Marketing	
	単位数	2	
	担当教員	アフマッド ザヒル先生	

科目	Entrepreneurship for sustainability		
履修期間	前期後半	単位数	5
授業内容／形態	アントレプレナーシップ×サステイナビリティ グループに分かれ、SDGs をヒントにビジネスプランを考えて発表する		
成績	4		
YCU 振替予定	科目	環境ビジネス・資源循環論	
	単位数	2	
	担当教員	青 正澄先生	

科目	Exercising Entrepreneurship		
履修期間	前期後半	単位数	4
授業内容／形態	オンデマンド形式 任意でグループを作り、アントレ関連のレポートを作成する		
成績	パス		
YCU 振替予定	科目	アントレプレナーシップ論	
	単位数	4	
	担当教員	伊藤 智明先生	

科目	Introduction to Business Analytics		
履修期間	後期前半	単位数	4
授業内容／形態	ビジネスアナリティクスの基礎講義 現地新入生向けの講義		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	Building Change Through Entrepreneurship		
履修期間	前期後半	単位数	4
授業内容／形態	アントレ系講義 グループに分かれていくつかのグループワークを行う		
成績	5		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 C）	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	Business English Launchpad		
履修期間	前期後半	単位数	3
授業内容／形態	スタートアップやビジネスに関する英語を学ぶ講義 課題がかなり多い割に単位数が少ないのが特徴だが、その分学びが多くかった印象		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	アントレプレナーシップ論	
	単位数	4	
	担当教員	伊藤 智明先生	

科目	Building Business Through Creativity and Collaboration		
履修期間	前期後半	単位数	4
授業内容／形態	デザイン思考について学ぶ グループに分かれて「何かをより良くする」グループワークを行う		
成績	4		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	Venture Growth Strategies		
履修期間	前期後半	単位数	4
授業内容／形態	シリコンバレーとフィンランドを比較しながらスタートアップやベンチャーキャピタルについて学ぶ講義 ※大学院の講義		
成績	6		
YCU 振替予定	科目	ベンチャービジネス論	
	単位数	2	
	担当教員	伊藤 智明先生	

科目	Entrepreneurship and Emerging Technologies		
履修期間	前期後半	単位数	4
授業内容／形態	オンデマンド形式 ブロックチェーン等の最新テクノロジーをビジネスへどう応用するかを学ぶ、エコシステムなどについても触れられる		
成績	6		
YCU 振替予定	科目	ベンチャービジネス論	
	単位数	2	
	担当教員	伊藤 智明先生	

<総括>

(1) 全体的な感想

\*留学生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

非常にゆったりとした時間の中で楽しく生活することができた。私に関しては、他の留学生と比べて現地のフィンランド人との交流が多く、ローカルで文化的な体験をたくさんすることができた。その中で新たに学ぶことも多く、非常に貴重な経験であった。

達成できたこととしては大きく分けて 2 つある。1 つ目はアントレプレナーシップに関する基礎知識を学ぶことができたことである。起業家としての心持ちから、リーンスタートアップやデザイン思考といった事業を作る方法論を学ぶことができた。また、アントレプレナーシップの講義はグループワークが多く、多国籍のチームメイトと英語で協働するのはかなり難しくも自分の中でたくさんの気づきを得ることができた。2 つ目は幸せについて深く考え、自分の中である程度の答えを出せたことである。自然が溢れ、ワークライフバランスが充実したこの国で、自分のキャリアや将来について深く考えることができた。留学中に就活をやっていて唯一良かった点は、キャリアについて深く考えることができたことだった。具体的には志望していた業界から働き方への意識がフィンランドでの生活を通じて大きく変化した。

オウルはフィンランドに留学したい学生に向いている都市だと感じた。オウルはフィンランドでも北に位置しており、自然に溢れていてフィンランドらしい生活を行うことができる都市である。大学のすぐ近くに 2 つの大きな湖があり、寮のサウナも公共サウナも日本のサウナとは比べ物にならない。一方で、いわゆるキラキラした留学生活を送りたい学生にはおすすめできない。付近には特に観光できるようなところもなく、観光地として知られる首都・ヘルシンキまでは電車で 7~9 時間かかってしまう。物価は高く、外食も買い物も思うようにすることができない。毎週のように友人とサウナに入るか Netflix を観ることをして暇を潰していた。そのような生活を楽しめる私のような人にはおすすめである。

(2)今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

フィンランドの生活で感じた何もない事による幸せを感じることを今後も大切にしていきたい。そのために、フィンランドでの生活スタイルを日本でもなるべく反映して生活していきたい。土日は必ず休むこと、ちょっとコーヒーで一息つくこと、サウナに友人と入ってのんびり話すことなどを日本でも再現することでその幸せを思い出したいと思っている。また、このフィンランド的なゆったりとした文化をまずは自身の周りに広めていきたい。私は留学前、自身が追い込まれていたことに気づかずにオーバーヒートして体調を崩してしまった。このように自分がどれだけ苦しい状況にいるかを考えずに走っている人は日本に(また自分の周りに)たくさんいる。そのような人に気づきを与え、行動を変えさせるような取り組みを行なっていきたい。実際、一度イベントの中で公演を行う機会があり、聞き手からはかなりポジティブな反応を得ることができた。今後もそのような機会を大切にし、まずは自分がゆったりとしたフィンランド的な生活を忘れないようにしたい。

(3)後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学先での生活を全力で楽しんできてください！

それを実現するために就活・卒論のことを事前に考えておくのが良いと思います(特に4年生)。自分の行きたい業界が決まっているのであればその業界はどのタイミングでエントリーを募集し始めるのか、また行きたい会社が決まっていれば具体的な日程まで確認しておくと良いと思います。まだ、今年度の日程が公開されていない場合には前年度のものが参考になります。とは言っても、ほとんどの人がそんなもの全く決まっていない状態だと思います。その場合には留学前～留学中に自己分析に取り組むと良いと思います。留学中、本当に様々なものに触れる機会があるので、その瞬間を大切にし、自分のことを考える時間をしっかりと取って、自分のことを考えてみてください。そして、3~4月ごろになったら就活情報を調べ始めて、なんとなく帰国後の就活のスケジュールを立ててみると良いと思います。日本にいる友人に色々と聞いてみると良いと思います。卒論もなんとなくのスケジュールを担当教員に事前に確認しておくと良いと思います。

僕は留学中に就活・卒論を進めることには大反対です。全力で留学先での生活を楽しんできてください！日本で就活しているみんなのことなんて気にせず、友達とサウナに入りましょう。その方が皆さんの今後の人生は楽しくなると思います！必ず辛い瞬間はありますが、友人や家族を頼って、無理せず、全力で楽しんできてください！